

がん腫	泌尿器癌 膀胱癌 / 尿路上皮癌						
レジメン	GCarbo 療法 (GEM + CBDCA 療法)						
レジメン内容		用量	点滴時間	Day1	2	8	15
	GEM	1000mg/m ²	30 分	↓		↓	↓
	CBDCA	AUC=5	1 時間		↓		
1 クールの期間	4 週間						

Day 1, 8, 15	Day 2
《新規》注射 未実施 泌尿器 医師名なし Rp01 2017/02/01 ~ 2017/02/01 毎日- (1) メイン点滴 末梢① 点滴(メイン、自然滴下) ルートキープ 生食 100ml 1 本	《新規》注射 未実施 泌尿器 医師名なし Rp01 2017/02/02 ~ 2017/02/02 毎日- (1) メイン点滴 末梢① 点滴(メイン、自然滴下) ルートキープ 大塚糖液 5%250ml 1 本
Rp02 2017/02/01 ~ 2017/02/01 毎日- (1) 側管点滴 末梢① 点滴(側管、自然滴下) 15 分かけて注入 デキサート注射液6.6mg 2mL 1 瓶 生食 50ml 1 本	Rp02 2017/02/02 ~ 2017/02/02 毎日- (1) 側管点滴 末梢① 点滴(側管、自然滴下) 15 分かけて注入 アロキン静注0.75mg /5ml 1 瓶 デキサート注射液6.6mg 2mL 9.9 mg 生食 50ml 1 本
Rp03 2017/02/01 ~ 2017/02/01 毎日- (1) 側管点滴 末梢① 点滴(側管、自然滴下) 30 分かけて注入 点滴時間厳守!! ゲムシタピン点滴静注用1g「NK」★ 1 mg ゲムシタピン点滴静注用200mg「NK」★ 1 mg 生食 100ml 1 本	Rp03 2017/02/02 ~ 2017/02/02 毎日- (1) 側管点滴 末梢① 点滴(側管、自然滴下) 1 時間かけて注入 カルボプラチン点滴静注液50mg/5ml「NK」★ 1 mg カルボプラチン点滴静注液150mg/15ml「NK」★ 1 mg カルボプラチン点滴静注液450mg/45ml「NK」★ 1 mg 大塚糖液 5%500ml 1 本

レジメンについて

GC 療法を modify した治療。

GC 療法は、M-VAC 療法とならび、標準化学療法として広く行われているが、CDDP は高度催吐性リスクの薬剤であること、用量規制因子である腎障害予防のために大量の輸液を必要とするなどの注意点があり、外来での化学療法施行が困難である。また尿路上皮癌の患者は高齢、腎機能低下など CDDP 投与に適さないとされる症例も少なくない。そこで腎機能が低下した症例に対する治療として CDDP の誘導體でその毒性を軽減した CBDCA を GEM と併用した GCb 療法が報告された。

GC 療法と GCb 療法を比較した第 II 相試験において生存期間中央値はそれぞれ 12.8 ヶ月 と 9.8 ヶ月、奏功率は 65.9%、56.4%であり有意差は認められなかったが、GCb 療法においては CDDP による消化器毒性や神経毒性は軽減されていた。

主なエビデンス	JCO 2000 ; 18 : 3608 Oncology , 2000 , 59 , 24-27
---------	------------------------------------------------------

開始基準	GC 療法の基準に準ずる Day8 , Day15 のブースト投与におけるの休薬の目安 白血球数 2,000/mm ³ 以下、血小板 7 万/mm ³ 以下
------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------

減量基準	上記基準に該当する場合は減量、休薬を考慮する
主な副作用（％）	上記文献等参照 CINV のリスクは比較的軽度
当院レジメンについて	<ul style="list-style-type: none"> ✓ GEM の点滴時間は 30 分を厳守（点滴時間延長により血液毒性等増加の報告あり）。GEM と胸部への放射線療法の併用は禁忌。 ✓ ゲムシタビンは添付文書上、生理食塩水に希釈するよう明記されているが、5%ブドウ糖への混合も可能。5%ブドウ糖に混合した方が血管痛の発現頻度が低下するとの報告もあり、症例によっては検討可能。 ✓ CBDCA 使用のため、セロトニン 5-HT₃RA は palonosetron（アロキシ[®]）とした。 Day3 以降の dexamethasone は省略しているが（steroid sparing）、症例によっては投与するのが望ましいと考えられる。その際投与量は 8mg を経口投与することとし、用法は朝 1 回の服用で良いと考えられる。 （処方例）デカドロン錠 4mg 2 錠 1 日 1 回朝食後 3 日分 ✓ CBDCA に対しては、特別なハイドレーションを行う必要はない ✓ CBDCA の投与量設定においては、Cockcroft & Gault 式を使用し算出した Ccr 値を使用することを推奨する。 ✓ Day15 のブースト投与を実施できなかった場合は 3 週 1 サイクルとして実施することも可能。
患者への注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ✓ CDDP と異なり、腎機能障害の予防として積極的に飲水を行う必要はない ✓ 制吐療法は十分に行っているが、発現時は我慢することなく伝える ✓ GEM による血管痛発現時は温罨法にて対応するのが望ましい
参考資料	<ul style="list-style-type: none"> ✓ がん診療レジデントマニュアル（国立がん研究センター） ✓ 医療薬学 39(7) 406-412（2013） ✓ 「ゲムシタビン+カルボプラチン療法」説明及び同意書（四国がんセンター泌尿器科）